

阿賀野市立吉田東伍記念博物館

友の会通信

2016-2017

No.1 (通巻74号)

2016.5.25発行

■ 目次	友の会会長挨拶 / 博物館館長挨拶	1
	平成28年度友の会総会報告	2
	会員の研究ノート	3
	ミュージアムコンサート2016 / 初夏の研修旅行 / 友の会伝言板 / 編集後記	4

発行：吉田東伍記念博物館友の会 〒959-2221 阿賀野市保田1725-1 (阿賀野市立吉田東伍記念博物館内)
TEL 0250-68-1200 FAX 0250-68-5016 web版友の会通信 <http://wind.ap.teacup.com/togo/>

博物館HP http://www.city.agano.niigata.jp/togo_museum/index.html E-mail y.togo@oregano.ocn.ne.jp

友の会設立20周年記念事業をめざして

吉田東伍記念博物館友の会 会長 長谷川 明一

去る5月14日(土)午後、吉田東伍記念博物館2階研修室において、第18回友の会総会が開催されました。今年度は、人事異動により田澤紀雄生涯学習課長が博物館長として着任され、来賓のご挨拶をいただきました。新たな視点から博物館の環境整備と充実発展につながるご尽力にご期待申し上げます。

今年度は役員改選の年にあたり、会長は総会の議を経て再度留任することになりました。大変非力ではありますが、会員各位のご理解とご協力のもとで会の運営を進めてまいります。2年後に迫る20周年記念事業めざして、今年度より運営委員会を中心に事業の企画立案について、その役割分担を明確にして、それぞれ担当する係が機能できるよう話し合っていきます。博物館と連携して、具体的な素案を次年度総会にご提案できるように計画しています。皆様の積極的なご支援ご協力をお願い申し上げます。

吉田東伍記念博物館友の会とともに

吉田東伍記念博物館 館長 田澤 紀雄

市立吉田東伍記念博物館は、平成9年9月に旧安田町の町立博物館として開館しました。

平成16年4月に町村合併により阿賀野市立吉田東伍記念博物館となり、現在に至っております。

平成29年度には開館20周年という大きな節目の年を迎えようとしており、いま以上に阿賀野市民に愛される博物館として新たな事業を展開していければと考えています。

吉田東伍記念博物館友の会は、平成10年4月に博物館を支える有志の会として発足しました。以来、財政的にも博物館から独立している自主組織にもかかわらず、ソフト面の運営をボランティアでサポートし続けていただいております。まさに博物館とともに歩んでおりますことに、改めまして感謝を申し上げます。

そして、名誉館長の吉田ゆき様からも様々なところでご指導、ご協力をいただいておりますことに御礼を申し上げます。友の会通信へのご挨拶とさせていただきます。

会費納入 のお願い

会費 (年額)

一般(高校生以上): 2,000 円
小 中 学 生: 1,000 円
家 族 会 員: 3,000 円
賛助会員: 1口 10,000 円

納入 方法

博物館受付で直接納入するか、同封の振込用紙をご利用下さい。
本通信と行き違いで既に会費を納入された場合はご容赦願います。

平成28年度友の会総会報告

平成28年5月14日(土)午後1時から、平成28年度総会が開催されました。長谷川明一会長が開会あいさつ、田澤紀夫博物館長よりご祝辞をいただいた後、会長を議長として議事を進行了しました。

議事では、平成27年度事業報告・決算報告、役員改選、平成28年度事業計画・予算案について慎重審議の結果、原案どおり承認されました。総会后、吉田東伍生家を会場に呈茶を楽しみました。（友の会事務局）

○平成27年度 事業報告

期 日	内 容
5月 24日（日）	平成27年度 吉田東伍記念博物館友の会総会
5月 24日（日）	市民文化講演会 2015 鼎談「吉田東伍・吉田千秋」 講師・パネリスト 吉田 ゆき氏（吉田東伍記念博物館名誉館長） 新藤 幸生氏（ちあきの会会長） 長谷川 明一氏（吉田東伍記念博物館友の会会長）
8月 7日（金）	とんと昔を聞く会
8月 20日（木） 8月 21日（金）	夏の研修旅行 ～佐渡・新能と能舞台～（1泊2日）
8月 27日（日）	星空への招待 2015 ～中秋の名月～
10月 12日（祝）	阿賀野市立吉田東伍記念博物館コンサート2015 TOGO Museum Ensemble 第17回演奏会 ～野口英世の生きた時代と音楽～
10月 25日（日）	サロンコンサート Vol.13 ～木管五重奏の愉しみ～
11月 14日（土）	市民文化講演会 2015「五頭山麓の歴史と文化」 講師 川上 貞雄氏（日本考古学協会会員、新潟県考古学会会員）
12月 26日（土）	第16回研究発表会 発表テーマ：新潟県北部の石造物を歩く 発表者：吉田東伍記念博物館友の会会員・小林弘氏

○平成28年度 事業計画

期 日	内 容
5月 14日（土）	平成28年度 吉田東伍記念博物館友の会総会、呈茶
6月 4日（土）	阿賀野市立吉田東伍記念博物館コンサート2016 TOGO Museum Ensemble 第18回演奏会 ～弦楽四重奏の愉しみ～
7月 7日（木）	夏の研修旅行 ～出湯・華報寺と中世の白河荘～
8月 5日（金）	とんと昔を聞く会
8月 （調整中）	星空への招待 2016
9月 10日（土）	市民文化講演会 2016（調整中） 講師：長谷川孝治氏
10月 （調整中）	サロンコンサート Vol.14 ～コントラバス～
10月 （調整中）	秋の研修旅行 ～石塚三郎・野口英世と会津～
12月 （調整中）	第17回研究発表会 発表テーマ：未定 発表者：吉田東伍記念博物館友の会会員
通 年	①吉田東伍記念博物館企画展への協力
	②パネル巡回展の実施
	③紙芝居「吉田東伍の生涯」の巡回
	④他の文化団体との連携・協力
	⑤学校教育への支援
	⑥インターネットによる広報活動「友の会通信ウェブ版」の充実

道下遺跡の溶鋳炉炉床について ～阿賀野市の文化財を歩く～

吉田東伍記念博物館友の会会員 小林 弘

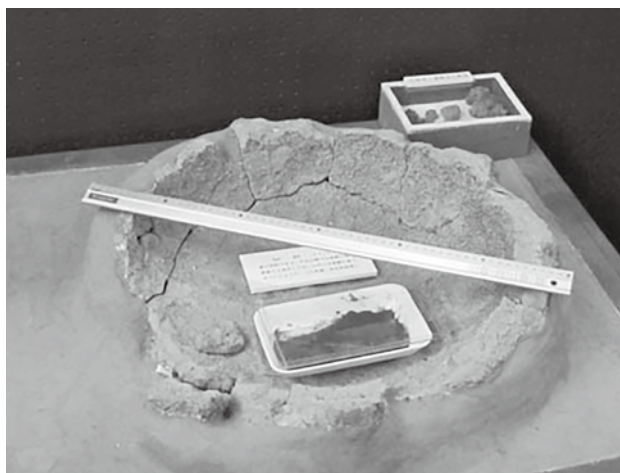
本遺跡は、五頭連峰の西側山麓に位置し、阿賀野市大字出湯字道下に所在する。出湯集落の北西、国道290号線西側約200mの扇状地の畑地に位置する。笹神村史によれば、昭和48年頃、地元の方が畑地の耕作の際、耕運機が何か堅いものが引っ掛かり、何だろうと思い堀起こしたら、炉床と思われるものが出土した。現在、炉床は復元され阿賀野市出湯の郷土資料館に常設展示されている。60cmの定規を資料館からお借りして写真を撮影させていただいた。炉床部分のみで炉壁は耕作等でなくなっている。その後、周辺から鉄滓が採集され、それらは海綿状を呈していて重量の重いものが多いという。鉄分を含むものもあるという。その後、道路工事に伴い調査が行われ珠洲焼の甕・鉢、中世土師器皿が出土したという。年代の手掛かりになりそうな土器類の所在は不明である。

先学諸氏により考察が加えられ铸造用溶鋳炉的なものと考えられていて、資料館に一緒に展示されている。説明板には、国内に類例が知られていない形のわかるものとされている。筆者はこれまでに铸造に関係する鋳型などの遺物は、採集されたという話は聞かない。

鋳物は、金属を溶かして型に流し込み冷却して型を外して金属製品を作ることである。日本には奈良時代に渡来人によって技術伝播され、鋳物で作られたものは梵鐘、釜、鍋、仏像などがある。溶鋳炉は粘土で構築されることが多く、下部に溶解した金属を取り出す湯口、炉の背後に炉に空気を供給する為の竈が設置され、製錬工程～精錬工程を経て取り出された金属塊を木炭と交互に投入され燃焼させ、金属を溶解する。一回の操業で数千度になるため炉にひび割れを生じ再利用されず壊されてしまうことが多く、炉の原型をとどめていないことから道下遺跡

の炉床標本は、貴重な資料である。铸造製品がどのようなものであったのか、鋳型が発見されていないので詳細不明である。

大陸から伝播した製鉄技術が、弥生時代に国内で製鉄が始まり、奈良～平安時代に最盛期を迎える。県内最古の製鉄遺跡は、弥生時代終末期の鉄器生産が行われた上越市の低地環濠集落の釜蓋遺跡である。铸造遺跡として調査され、管見に紹介された例は、柏崎市軽井川南遺跡群下久保A遺跡（平安）が、確認できるものでは最も古いものである。他に、出雲崎町の寺前遺跡（中世）、上越市の高田城下鍋屋町遺跡（近世）、糸魚川市の梵鐘铸造の原山遺跡（近世）がある。道下遺跡出土の炉床は、出土土器が中世のもので、それと共伴するものであれば下久保A遺跡に続く資料と考えている。



▲阿賀野市笹神地区郷土資料館常設展示品
「道下遺跡出土炉床」

「主な引用参考文献」

- ・笹沢正史他（2008年）
『釜蓋遺跡範囲確認調査報告書』上越市教育委員会
- ・赤羽正春他（2008年）
『一般国道116号出雲崎バイパス関係発掘調査報告書Ⅵ 寺前遺跡』新潟県教育委員会 新潟県埋蔵文化財調査事業団

Togo Museum Emsemble 第18回演奏会 ～弦楽四重奏の愉しみ～

平成28年 6月4日(土) 14:00～15:30 *第1部または第2部のみの鑑賞も可能

会 場／阿賀野市立吉田東伍記念博物館
附属 吉田東伍生家（旧旗野邸）大広間

出 演／ポッチャリーノ弦楽四重奏団
ヴァイオリン：奈良 秀樹 小島 健弘
ヴィオラ：長尾 幸
チェロ：安部 信之介

入場料／友の会会員：無料、一般：博物館入館料 300 円、
中学生以下：無料

申込不要（直接会場へどうぞ）

第1部[大人向けクラシックステージ]

14:00開演～14:35(開場13:30)

曲目／ショスタコーヴィチ：弦楽四重奏曲第8番、
バーバー：「弦楽のためのアダージョ」

第2部[3歳から楽しめるポピュラーステージ]

14:50開演～15:30

曲目／「365日の紙飛行機」
「となりのトトロ」 ほか

初夏の研修旅行 ～出湯・華報寺と中世の白河荘～

昨年度の市民文化講演会で「五頭山麓の歴史と文化」と題して講演された川上貞雄氏を講師に、
阿賀野市出湯を中心に、白河荘（しらかわのしょう）の故地を歩きます。

日 時 平成28年 7月7日(木)

集合場所・時間 吉田東伍記念博物館集合(乗り合いで移動)：午前8時30分
出湯温泉共同駐車場(現地集合)：午前9時

行 程 9:00 出湯温泉共同駐車場出発 → 9:00～12:00 出湯・華報寺周辺及び笹神地区郷土資料館を徒歩で見学
→ 12:30 昼食(「五頭の山茂登」釜飯) → 13:30 現地解散

講 師 川上 貞雄 氏（日本考古学協会会員、新潟県考古学会会員）

参 加 費 2,000円(昼食代・交通費・保険料等)

申し込み 6月30日(木)までに博物館へ電話(申し込み時に集合場所をお知らせください)

友の会伝言板 …………… 事務局より

- ① 新規会員を募集しています！ご近所、お友だち、ご家族に入会のお声がけをお願いします。
- ② 原稿を募集しています！
『友の会通信』の「会員の研究ノート」「会員随想」「友の会伝言板」のコーナーへの投稿をお待ちしています。詳しくは友の会事務局までお問い合わせください。

編集後記／友の会活動も18年目に入りました。設立当初から友の会活動にご理解ご協力をいただいていた渡辺史生さんが3月末日で定年退職を迎えられました。4月から引き続き博物館職員としてご指導をいただきます。人生の節目と同じように、組織にも節目があります。平成29年度は博物館開館、平成30年度は友の会設立、いずれも20周年を相次いで迎えます。この機会を前向きにとらえて、誠実な一歩を積み上げていきたいと考えています。（事務局T）

平成28・29年度 役員

役 職	氏 名
会 長	長谷川 明 一
副 会 長	百 都 政 弘
副 会 長	長谷川 大 八
会 計 監 事	廣 田 正 博
会 計 監 事	渡 辺 ヒ サ
運 営 委 員	小 野 民 裕
運 営 委 員	金 子 祐 也
運 営 委 員	小 林 弘
運 営 委 員	佐 藤 智 恵
運 営 委 員	白 井 皓 一
運 営 委 員	信 田 久 榮
運 営 委 員	桵 木 ナ ツ
運 営 委 員	渡 辺 与志和
事 務 局	小野里 澄 子
事 務 局	田 中 洋 史